

# ひがしそのぎ 議会だより

第 149 号



河川公園 やすらぎの里

## 3 月定例会

27年度予算決まる .....	2～3 ページ
条例改正・補正予算等 .....	4 ページ
町政を問う！4人が一般質問 .....	5～6 ページ
議会活動報告 .....	7 ページ
編集後記 .....	8 ページ

# 8 特別会計予算

全会一致可決

- 公共用地等取得造成事業については、千綿紡績跡地の測量設計業務委託料が皆減された。
- 国民健康保険事業においては税収は若干の伸びが予想されるが、療養諸費等の大幅増が想定されるため、対前年比17%増である。
- 介護保険事業において保険給付費は、ここ数年ほぼ横ばい状態だが、施設の増加によるサービス費の上昇で3.5%増である。
- 後期高齢者医療では、対前年比1.5%増である。
- 簡易水道事業では、統合簡易水道事業の実施に伴い、対前年比83.4%の大幅増である。
- 農業集落排水事業では、中尾地区において、接続が全て完了しているが、西部地区においては接続率82%である。
- 漁業集落排水事業の接続率が77%であることから、さらに接続の推進が必要である。
- 公共下水道事業では、平成26年度末現在の整備済面積は、全体計画160haの内125.5haとなっているが、接続率は69%にとどまっている。27年度は第3期認可区域である千綿宿地区の整備に着手する。第2期認可区域については、橋ノ詰地区、三根地区の面的整備が進められる。

(単位：千円)

項目	27年度	26年度	比較増減
公共用地等取得造成事業特別会計	521	10,345	△9,824
国民健康保険事業特別会計	1,501,000	1,281,574	219,426
介護保険事業特別会計	880,000	850,000	30,000
後期高齢者医療特別会計	100,000	98,500	1,500
簡易水道事業特別会計	783,134	426,920	356,214
農業集落排水事業特別会計	40,000	45,500	△5,500
漁業集落排水事業特別会計	8,300	9,200	△900
公共下水道事業特別会計	433,400	427,500	5,900
合計	3,746,355	3,149,539	596,816

# 平成27年度一般会計予算

全会一致可決

(単位：千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	款	本年度 予算額	前年度 予算額	比較
議会費	74,805	84,471	△9,666	町税	662,977	704,645	△41,668
総務費	525,033	530,772	△5,739	地方譲与税	52,600	54,400	△1,800
民生費	1,273,167	1,226,632	46,535	地方消費税交付金	134,000	90,000	44,000
衛生費	372,482	346,632	25,850	地方交付税	1,990,000	1,995,000	△5,000
労働費	10	10	0	分担金及び負担金	35,516	24,674	10,842
農林水産業費	341,172	370,511	△29,339	使用料及び手数料	77,689	80,569	△2,880
商工費	52,410	106,140	△53,730	国庫支出金	531,109	427,856	103,253
土木費	670,816	592,517	78,299	県支出金	414,746	392,955	21,791
消防費	232,435	182,941	49,494	財産収入	16,987	15,295	1,692
教育費	401,161	382,960	18,201	寄付金	7,502	1,252	6,250
災害復旧費	3,195	3,256	△61	繰入金	245,393	258,580	△13,187
公債費	715,865	726,602	△10,737	繰越金	50,000	50,000	0
諸支出金	1	1	0	町債	385,300	407,600	△22,300
予備費	9,448	10,555	△1,107	その他	68,181	61,174	7,007
歳出合計	4,672,000	4,564,000	108,000	歳入合計	4,672,000	4,564,000	108,000

本年度は町長選挙年に当たり、町長独自の政策が組み込めない、いわゆる骨格予算と言われる予算編成が行われ、歳入・歳出がそれぞれ1億800万円増額された予算となった。

歳入では、国庫支出金1億325万3千円増、歳出では、民生費4653万5千円、土木費7829万9千円、消防費4949万4千円の増額が主なものである。



予算の診断は、議会が  
しっかり行います。



# 議会活動報告

## 総務厚生常任委員会

利府町は宮城県のほぼ中央に位置し、平成の大合併で合併を選ばなかったが、仙台市のベッドタウンとして人口が飛躍的に伸びている町です。

町内には県立運動公園や日韓共同のワールドカップの時のサッカースタジアムが建設されており、2020年東京オリンピック時のサッカー競技招致運動を行っているとのことでした。

人口は昭和60年12,031人でしたが、平成26年35,750人となっている。

主な要因は「利府町に住んでよかった。住みたい。住み続けたい。」と言ってもらえるような「子育てしやすいまちづくり」に町独自の施策を展開されていた。



宮城県利府町議場にて（1月15日）

利根町は、茨城県の最南端に位置し、都心から40km圏内にあり、人口16,641人の町である。

子育て支援等に関する事業について子育て応援手当支給として、第2子に対し1年目に3万8千円、2年目から15年目まで3万3千円で総額50万円、第3子以降の子に対し、1年目に7万6千円、2年目から15年目まで6万6千円で総額100万円が支給されていた。

## 産業建設文教常任委員会

去る、1月15日東彼杵町が抱える諸問題を次の3省庁に陳情しました。

厚生労働省で本町簡易水道事業統合の補助対象期限の平成28年度までを財政的並びに時間的余裕がないため、3年間延長してほしいとの陳情（厚生労働大臣政務官高階恵美子氏、健康局水道課長等の対応）

農林水産省で里漁港の水産物供給機能保全事業（護岸保全）の早期着工並びに音琴漁港・千綿漁港・里漁港の合併の認可についての陳情（農林水産大臣政務官中川郁子氏、漁港漁場整備部整備課長等の対応）

文部科学省で平成28年4月1日から統廃合する小学校のスクールバスの住民利用に関する規定の緩和、運行に対する財政支援、学校統廃合に伴う学校整備費補助金等の充実の陳情（文部科学副大臣丹羽秀樹氏ほか課長等の対応）

16日は、大田市場で農産物の出荷状況等を調査しました。



厚生労働省にて



佐藤 隆善 議員

### 一期4年間の町政での成果は

【議員】町長に就任して一期4年が終わろうとしています。就任当初考えていた政策等の成果を自身でどのように感じてもらえるのか。

【町長】町民の皆様約束した公約を実行する為に取組んでまいりました。その中でも、まちづくり委員会（交付金）を初め、町民皆様で考えて一緒にまちづくりに積極的に行動して戴く事業を推進してまいりました。千綿地区の下水道区域の見直しによる合併浄化槽の設置計画、地域おこし協力隊の受入れ、企業誘致、自主防災の強化、水道の幹線改良等に取組んだ。千綿女子高等学園跡地の活用、小音琴潮風対策、人

### 小学校統廃合の準備計画は

口減対策等、今後も検討すべき課題もある。【議員】多くの課題があるなかで町政発展の為政策を実行されていますが、立案から実行まで急ぎすぎの面も見られましたので、今後は立案時に担当者として話し合いを充分行い、提案されることをお薦めしたい。その事が事案の精度を高め、周囲の理解も得られると考えます。【町長】性格でもありませんが確かに急ぎすぎた面も有ったと思いますので、今後は職員と十分な協議を心掛けるようにしたい。

【議員】平成28年度から大楠小・音琴小学校が彼杵小学校に統合されますが、時間が少ない中で準備をしていく訳ですが次の事をお尋ねします。①教室の整備計画 ②通学計画はどの様に考えているのか。【教育長】①統合後に児童数から考え、全校で12教室を予定しているが、彼杵小学校は13教室利用



出来、対応可能な為に工事は考えていない。また、屋内運動場は一部補修を予定している。②通学はスクールバスを3台購入して1台を音琴校区に、2台を大楠校区に配置する事を予定し、購入に向け補助金申請をし、間に合わせる。【議員】教室は問題がないが、通学についてはスクールバスの運行は町営バスとの関連等多くの問題が有るのでは。【教育長】統合に向け学校、保護者、地域の作業部会で検討するため、区長会にも委員をお願いし、6委員会でも対応する。町営バスとの調整については、委員会の協議内容により町長部局と行う。本年の4月から教育委員会が大きく変わるので実行については町長と方針を詰めて実施していきたい。



浪瀬 真吾 議員

### 学校統廃合の進捗状況と取り組みについて

【議員】少子高齢化と共に町内の人口が減少していく中、グローバル化する社会の中で子ども達の将来を鑑みた場合、より良い教育環境を図って行くという事から、平成28年4月1日から音琴・大楠小学校を彼杵小学校に統合する条例改正案が昨年12月可決された。現在、実施計画案がどの程度進捗しているのか。廃校舎の活用をどの様に考えているのか。スクールバスについて、一般住民の利用を可能とし、運賃を徴収した場合、道路運送法（旅客運送）等による問題点はないのか伺います。【町長】廃校校舎の活用については、いろいろ考え方が有る。企業誘致・レストラン・宿泊所・学

校・福祉施設などがあり雇用も新しく生まれ、選択をしながら見極める。道路運送法による問題点は、一部利用者の優遇は禁じられている。子どもは無料、大人は有料とした場合、道路運送法の手続きがある。地域の創意工夫で対応を図っている事例もある。児童生徒・一般利用者とも有料とする条例を設ける場合もある。その場合は、児童生徒の保護者に代わって、自治体が運賃を負担する方法、定期券を購入してもらう方法がある。スクールバスは、児童生徒を安全に送迎することが目的なので、今後は、公共交通会議の中で関係者の同意を頂きながら法令上の手続きを進めて行くと思う。【教育長】統廃合の進捗状況は、小学校統廃合実施協議会の設置要綱に基づいて実施している。3月中にPTA・関係地区の区長に説明し、実務を行う作業部会の委員の選出をお願いする。子ども達が違和感なく28年の4月1日を迎えられることが大切なので、3小学校の交流学習・交流活動については、年間スケジュール

ルを組み予算措置をしていく。【議員】バスの乗降場所はどこになるのか。【町長】バスをどこで止めるか、どこに格納できるか、用地買収を含めたところで検討する。【議員】中学生の利用はどうか。【教育長】配備のスクールバスは、29名乗りで3台を予定している。児童が乗った後の座席数は、あまり余裕がない。補助金の交付目的外使用については、文部科学大臣の承認が必要なので、計画に支障を及ぼさない範囲で目的外使用の計画を立て、町長部局と協議しながら進める。【議員】バスの待ち時間はどのように対応するか。【教育長】現在、大楠小では高学年の子供たちは、図書館で過ごしたり、部活をしている。今後、作業部会で検討する。【議員】各小学校の記念誌などの制作計画はないのか。【教育長】準備されているところもある。彼杵小学校に各小学校の歴史が記念に残るような場を配慮しながら進める。

# お茶畑ロードレース大会



小学生・一般ゆっくりジョギング1.5kmのスタート（2月22日）

## 編集後記

梅は咲いたか桜はまだかいな

果たして桜咲くのか

私達の任期は今議会で任期満了となります。

この4年間で振り返りまして議員として足り得たのかと自問自答する今日この頃であります。

議会広報も町民皆様に愛読頂けたのでしょうか。

編集に際して

広報表紙に躍動的な町民皆様の姿を多く掲載しました。

結果の報告に留まらず、結果に至る経緯を紙面に表しました。（賛否、別れたときは賛否表と反対討論、賛成討論の内容掲載）等、極力、変化を持たせるべく努力致しましたが、満足の行く紙面とは言えません、今後の課題と致します。

町民皆様から叱咤激励を頂きながら任期満了できました事に感謝申し上げます。

議会広報編集常任委員

橋村孝彦  
滝川初夫  
吉永秀俊  
佐藤隆善  
浪瀬真吾  
岡田伊一郎

